



明けましておめでとうございます。

うらかな春を思わせるようなお正月3ケ日でした。
インフルエンザも12月に少し見られましたが、年明けの温かさのためか、元気に登校するなぎさっ子は笑顔いっぱいです。



本年もどうぞよろしくお願いいたします
2020年 元旦

学校法人龍学園
なぎさ公園小学校
校長 渡邊 あけみ
〒211-5138
広島市佐伯区舞山南二丁目-30

さて、全校集会では、次のようなお話をしました。ネズミ年にちなみ干支の話で新年のスタートを切りました。

・・・新しい年の始まりです。今年は、ネズミ年。英語では、ネズミのことをMouseと言います。みんなの人気者、ミッキーマウスもネズミ、ピカチュウもネズミ、多くの人がパッと思い浮かべることができます。ネズミは、Mickey Mouse（ミッキーマウス）に代表されるようにかわいく親しみが持てますね。また、英語ではRatもネズミという意味です。RatはMouseより大きなネズミです。では、ねずみ年は、どんな年になるのでしょうか、調べてみました。



干支の中で一番目は、ネズミですが、神様への新年の挨拶レースに体の小さいネズミが勝ったのはなぜでしょう？昔話によれば、実は、ネズミは自分では走らないで、ちゃっかりと牛の背中に乗り、ゴールを目の前にして牛の背中からジャンプしてゴールインしました。おまけに、猫には「レースは、前日に終わったよ。」とウソをついてしまいました。そのため、猫は、十二支に入ることができずでした。だから、ネズミはいつも猫に追いかけて回されることになったと言われています。「干支の始まり」という本にはこのように書かれていました。

鏡餅（カガミモチ）

江戸時代、武家において新年の11日に行われる行事で鏡などの具足に供えた具足餅を下げて雑煮などにして食し「刃柄（はつか）」を祝うとした行事。鏡餅を食べることを「歯固め」という。これは、硬いものを食べ、歯を丈夫にして、年神様に長寿を祈るため。なぎさでは、米づくりをした3年生が毎年、七輪で焼いて食べます。

1月の生活目標

- 教室の空気を入れかえよう
- うがい、手洗いをしよう

ねずみ年生まれの方は、素直で正直で人付き合いが良く、働き者だそうです。そして、友達や仲間、家族を非常に大切にすると聞きました。今年もいい年になりそうですね。ネズミにあやかって楽しい1年にしていきたいと思います。

6年生は卒業まで今日を入れて51日しか学校に来る日がありません。短い期間ですが、みんなで力を合わせて周りの人を大切に、自分の目標に向かってがんばっていきましょう。そして、よいと思うことは、どんどん挑戦していきましょう。・・・

ネズミのおはなしたくさん！！

ネズミにまつわるお話は日本でも世界でもたくさんあります。それだけ、ネズミは、私たち人間と近い間柄なのでしょう。時間を見つけて、ネズミが登場する本を読んでみましょう。
▼ライオンに恩返しをしたネズミ▼ネコとネズミ(日本昔話)▼野ネズミと家ネズミ▼ネズミのよめいり▼ネズミの会議▼ネズミ経▼ネコとネズミ(イソップ童話)▼ネズミのすもう▼ネコがネズミを追いかける訳▼おむすびコロリン▼ハメルンの笛吹▼アナトール、工場へ行く等々たくさんあります。

